

平成18年12月

小松恵子 学位論文審査要旨

主 査 井 上 幸 次
副主査 西 連 寺 剛
同 林 一 彦

主論文

CCR5・CXCR3欠損マウスにおけるヘルペス性角膜実質炎の解析

(著者：小松恵子)

平成19年1月掲載予定 米子医学雑誌 58巻

審査結果の要旨

本研究はCCR5・CXCR3欠損マウスを用いてヘルペス性角膜実質炎（HSK）の臨床所見を比較検討したものである。その結果、DKOマウスではHSK臨床所見がWildマウスと比べて有意に抑制され、角膜における浸潤細胞数、所属リンパ節のT細胞数も減少を認めた。更に、眼局所のウイルス力価はWildマウスとKOマウス群との間で有意差を認めず、治療を考えていく上で有用な所見が得られた。本研究の内容は、CCR5およびCXCR3を標的にすることで今後HSKの治療方法に新たな可能性が期待できることを示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。